GenFIT実施レポート
～齊藤牧場（日高町富川西）～

今回は日高町の齊藤牧場（代表　齊藤宏太さん）にお邪魔し、GenFITについてお話を聞いてきました。齊藤牧場は平成24年から当団の交配相談サービスであるGen-FITを利用していただいています。



齊藤牧場について教えてください！


取材を受けてくださった齊藤宏太さん

祖父が入植し、私で3代目です。大学卒業後、当時は大動物の診療も行っていたガイア動物病院（千歳市）で授精師として働いていました。授精業務をしながら家業も手伝っている状況が続いたのち、本格的に後を継ぎ、今に至ります。

一時は搾乳頭数60頭まで拡大し、更なる乳量増産を考えていたのですが、父の病気をきっかけに将来の経営について考えるようになりました。人生80年じゃ済まなくなっている時代に、これから先も大好きな酪農を長く続けるにはどうしたらよいかを家族全員で話し合った結果、現在は40頭前後を搾乳しています。自給粗飼料の生産と自家授精もしているので忙しいですが、1頭1頭に愛情をかけ、家族で経営に取り組んでいます。

GenFITを始めたきっかけを教えてください！

授精師のころから自分で赤本を見ながら、種雄牛を選定していました。事務作業が煩雑化しないように使用する種雄牛は多くても4頭と決めているのですが、血統を考慮しながら牛を選ぶのはとても楽しい反面、時間のかかる作業でもあるので、農繁期は畑作業・搾乳・繁殖管理に追われ、深夜に種雄牛選定をやることも多々ありました。また自分の好きな牛を選んでいるとどうしても近交係数が上がってきてしまいます。近交係数が極端に高い牛は能力が高いか低いかのどちらかになってしまう実感があったので、近交係数をコントロールしたいと感じていたとき、ＧＨの方から紹介されたのがきっかけでした。

GenFITを始めて約7年ですが、牛はかわりましたか？

かわりました！肢蹄が長くなって、乳房底面が高くて三産まで底面が落ちないような牛が揃ってきています。うちは繋ぎ飼いですが、群管理できるようなムラのない牛群を目指しているのでサイズ面でも牛が揃ってきているのはうれしい変化です。

また今は泌乳持続性も改良されていて、ピーク乳量を長く維持する牛が増えたと感じます。牛の体調変化に合わせて、今は分娩後80日より前には授精せず、直検やホルモン処置等も極力行いません。また日乳量が40kg以上出ている牛は分娩後何日経っていようが直検は控え、子宮や卵巣にダメージを与えないようにしています。分娩間隔にとらわれず、牛の自然な発情を待って授精を行うので分娩間隔は長いですが


事務所の一角にある授精スペース
GenFIT結果表を手元に、授精を行う

性選別精液のおかげもあって、頭数のコントロールもできています。



GenFITを始めたいと思っている方に一言お願いします！

長くやればやるほど成果が出るので若い人にもどんどんやってほしいと思います。また、おおまかな要望やニュアンスを伝えるだけでもスタッフの方が様々な種雄牛を提案してくれるので助かります。種の専門家に話を聞ける機会は貴重です。今の授精は2年後、3年後に希望の牛となって帰ってくるチャンスでもあるので、続ければ続けるほどメリットがあると思いますし、改良のスピードも上がると思います。



なにか要望などはありますか？

GenFITの話からは少しそれますが、自家授精をしているので授精に関する農協への報告、ホルスタイン農協への報告、酪農検定検査協会への報告などが一括してスマートフォンでできるようになればと思います。すべてがリンクされるのが理想です。
また牛にとって分娩は大きなリスクです。1年1産という考え方は見直されてきているようですが、無理に受胎させなくても2年ぐらい長く搾れるようなタイプの牛がいてもいいと思います。農家のスタイルも多様化しているので種雄牛にも多様性があってほしいです。



現在は、富川飼料生産組合を立ち上げ、地域全体で大型機械を導入したことで、畑作業の省力化になり、より家族の時間が持てるようになったそうです。また、今まではすべて一人で担っていた授精も繁忙期には近隣の授精師にお願いするなど、バランスを取りながら楽しく酪農をされているのが印象的でした。またGenFITが微力ながら省力化や改良でお役にたっていると感じることができる機会となりました。快く取材をうけてくださった齊藤さんにこの場を借りて御礼申し上げます。

事業推進部　情報企画課　藤元郁子

SAKURA会 2019
セミナー＆オンナまつり



開催日　平成31年3月2日（土）
13：00～（受付開始12:00）

場　所　あかん湖鶴雅ウイングス
（釧路市阿寒町）

参加費　実費負担
（後日お知らせします）

●基調講演
「酪農家を継いで」（仮）
柴田瑞穂氏（柴田牧場（秋田県））

●トークセッション
「私たちが考える今後の酪農畜産」（仮）
パネラー
柴田瑞穂氏／佐藤雅子氏（佐藤牧場（広尾町））／
濱野綾香氏（濱野販促企画（釧路市））
コーディネーター
砂子田円佳氏（(株)マドリン（広尾町））

夜はオンナまつり
（懇親会）を開催します





参加申し込み、お問い合わせ
Mail：sakurakai.agri@gmail.com（砂子田・片岡）
Facebookグループ：Sakura会　検索